

10月4日の海外相場

COMEX/NYMEX (\$)	Gold (Dec)	Silver (Dec)	Platinum (Jan)	Palladium (Dec)
Open	1,511.6	17.630	895.5	1,631.0
High	1,522.2	17.745	895.5	1,659.4
Low	1,501.4	17.330	876.8	1,627.3
Settlement	1,512.9	17.625	886.9	1,642.4
Change	-0.9	-0.051	-7.5	12.2
EFP	5.58 5.68	0.043 0.048	4.75 5.50	-28.00 -24.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	1,509.50	1,499.15
Silver	17.605	
Platinum	884.00	873.00
Palladium	1,661.00	1,661.00

コメント

Precious Metals

ゴールド・シルバーは略横ばい、プラチナは小幅下落、パラジウムは小幅上昇となった。米国雇用統計を控える中で欧州時間は貴金属全般動意に乏しい展開となったが、米国時間に入って雇用統計が発表されると一時ドル高に推移し、貴金属は全体的に弱含んだ。ゴールド・シルバーは安値拾いの買戻しを受けて下落幅を取り戻すも、プラチナは戻り幅が小さく小幅下落にて引けた。パラジウムは需給の強さに加えて雇用統計を受けて米国の急速な景気後退懸念が和らいだ事で底堅く推移し、抵抗線を上げると一時\$1,685/oz近辺まで上昇した。その後は利食い売りが入り値を戻したが、結果小幅上昇で引けた。

FX

ドルは米国雇用統計の結果を受けて主要通貨に対して上昇したが米国政局リスクや米中通商問題の行方を巡る懸念が重石となり反落、ドル指数は略横ばいにて引けた。米国雇用統計の結果は非農業部門の雇用者数が市場予想14万5000人増に対して13万6000人増と緩やかな伸びになった一方で、失業率は前月の3.7%から3.5%へと低下し1969年以来の50年ぶりの低水準となるなど強弱入り混じる結果となった。然し乍、ISM製造業景況指数及びISM非製造業景況指数の悪化に伴い米国景気の急速な減退が懸念されていた中で雇用統計の結果がまずまずだった事を受けて市場はドル高・米国債利回り上昇で反応した。ドル/円終値106.94、ユーロ/ドル終値は1.0978。

10月7日 週の経済指標一覧

	Mon	Tus	Wes	Thu	Fri
USA		9月 卸売物価指数 前 0.1% 予 0.1%	パウエル米FRB議長発言	9月 消費者物価指数 前 0.1% 予 0.1%	10月 ミシガン大学消費者態度指数 前 93.2 予 92.3
			FOMC議事要旨	前週分 新規失業保険申請件数	
				前週分 失業保険継続受給者数	
Asia		CH 9月 購買担当者景気指数 前 52.1 予 52.0			
Europe	独 8月 製造業新規受注 前 -2.7%	英 カーニ-BOE総裁発言		英 8月 月次GDP 前 0.3%	独 9月 消費者物価指数 前 0.0%
		独 8月 鋳工業生産 前 -0.6%			

Source: Bloomberg

COMEX/NYMEX 投機的建玉

2019/10/1	Gold (Moz)	Silver (Moz)	Platinum ('000 oz)	Palladium ('000 oz)
Long	38.3	613.3	3,227.6	1,840.3
Short	8.0	244.4	1,456.0	2,207.2
Net	30.4	368.9	1,771.6	-366.9
Change	-4.1	-10.0	-407.6	-15.5

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。